



らいぶらりい



倉吉北高図書館
2019.1.15

古事記

おおのやすまる

古事記は日本最古の歴史書です。「序」には「712年の1月28日に太安万侶が編集し元明天皇に献上した」と記載されています。古事記は上・中・下巻あり、上巻には神話が、中・下巻には神武天皇から推古天皇までの系譜や物語が記されています。上巻の神話は特に有名で皆さんも目にしたことがあると思います。日本の神々の誕生や国の創成が書かれています。また古事記には因幡の白兔のお話（鳥取市）や、あかいいわ赤猪岩のお話（南部町）など山陰各地にまつわるお話が大変多く書かれています。現代語訳してあったり、マンガになっていたりと読みやすい本もたくさん出版されているので、この機会にぜひ一度読んでみてください。



イザナギ



イザナミ

むつき はつはるつき さみどりつき
睦月 初春月 早縁月

◎睦月の由来

新年人々が集まって睦み合う(仲良く、親しくすること)から。

◎二十四節気

しょうかん
小寒 6日

寒さが厳しくころ。この日から立春までの間を「寒」という。

だいかん
大寒 20日

一年で最も寒さが厳しくなると言われている日。



1月22日 カレーの日

1982年1月22日、全国の小中学校で一斉にカレー給食が出されたことから、カレーの日に制定されました。カレーが日本に入ってきたのは1858年、横浜に入りました。今ではすっかり家庭料理の定番メニューです。そういえば鳥取県はカレーの消費が多いことで注目されていましたね。海上自衛隊では航海に出ると曜日の感覚が鈍るために、毎週金曜日はカレーなんだとか…。カレーといっても奥が深く、スパイスの調合が違えば味が変わり、オリジナルなカレーを作ることが出来るそうです。時間がある時には本格的なカレーを作ってみるのもいいですね。



新 着 図 書



「グランブルファンタジー」 はせがわみやび著
「怪盗ルパン 謎の旅行者」 ルブラン著
「二番がいちばん」 ロレンス著
「世界が若かったころ」 ジャック・ロンドン著
「百万ポンド紙幣」 マーク・トウェイン著
「大きなかぶ」 チェーホフ著
「5分後に恋するラスト」 エブリスタ編
「5分後に笑えるどんでん返し」 エブリスタ編
「おまじない」 西加奈子著
「風と共にゆとりぬ」 朝井リョウ著
「ダブルダウン勘繰郎トリプルプレイ助悪郎」 西尾維新著
「ぼくたちと駐在さんの700日戦争 ベスト版」 ママチャリ著
「OVER HEAVEN」 西尾維新著
日本語を味わう名詩入門
「萩原朔太郎／室生犀星」「丸山薫／三好達治」「サトウハチロー」
「草野心平」「高田敏子」
「世界で活躍する仕事100」 東洋経済新報社
「簡単おりがみ大百科」 主婦の友社
「世界史見るだけノート」 祝田秀全著
「日本史見るだけノート」 小和田哲男著
「ノーベル賞117年の記録」 山川出版社
「ライブ!現代社会2018」 池上彰監修
「百人一首大事典」 吉海直人監修
「ことわざ 慣用句・故事成語・四字熟語」 ポプラディア情報館
「短歌・俳句 季語事典」 ポプラディア情報館
「自衛隊 一般曹候補生合格テキスト」
「海上保安大学校 海上保安学校への道」

おすすめの本

「孤独を生きる言葉」

松浦弥太郎著 河出書房新社 (NDC159)

「誰もが、たった一人で生きていく。それはわかっているけど認めるのは少し怖い事実。孤独を受け止めるにはちょっとした覚悟がいります。孤独を生きるには、けっこうな勇気がいります。」と著者は書いていて、「けれども孤独を生きるその先には自分が自分として生きていける、自由な世界が広がっている。」とも書いています。孤独を生きるための心の支えとなるのがこの「孤独を生きる言葉」です。折れそうになる心に寄り添ってくれたり、時には励ましてくれたりする言葉が書いてあります。たとえば孤独を生きていなくても、この本に記してある言葉は、読んだ人の支えや励ましになると思います。迷ったとき、困ったとき、もちろん孤独をきている時に読んでほしい一冊です。

お知らせ

3年生のみなさんへ。

1月28日から自由登校に入りますので、今借りている本は一度1月25日までに返却してください。自由登校中も貸出をします。ただし2月26日までに必ず返却をお願いします。自由登校の時間を使ってぜひ多くの本を読んで欲しいと思います。